

交通事故防止に向け総力結集

第4保育所園児による太鼓で開式



交通安全宣言をする富田会長

秋の交通安全運動合同出発式

らも交通安全を訴えました。引き続き、優良運転者や交通安全功労者の表彰があり、本町の米原良博さんも平成21年度交通安全栄誉章「緑十字銅章」優良運転者の表彰を受けました。

最後に、町交通安全母の会の富田セツコ会長が参加者を代表して交通安全宣言。町交通指導員の安尾和憲隊長が出發申告を行い、参加者たちは、白バイやパトカーに先導されて、各町のパレードに出發しました。

秋の交通安全運動の一環として9月18日、御船警察署管内の4町（御船、嘉島、甲佐、益城）の合同出發式が、町総合体育館で開かれました。本町をはじめ各町の交通指導員、老人クラブ、交通安全母の会などの代表ら約400人が出席。開会に先立ち、町立第4保育所の園児が元気よく「益城飛翔太鼓」を披露すると、会場から盛んに拍手が送られました。式では、主催者を代表して住永町長が「それぞれの地域に根ざした交通安全活動を積極的に推進していただき、安全で安心なまちづくりのため、一層のご活躍をお願いします」とあいさつ。西口俊一御船地区交通安全協会会長、本山秀樹御船警察署長



交通事故防止に向けてパレードへ出發（町総合体育館前）

勇壮な舞いで観衆を魅了

砥川地区で伝統の獅子舞を奉納

10月17日、約400年の歴史を持つ砥川神社秋の例大祭が行われ、勇壮な獅子舞が奉納されました。

この獅子舞は、六嘉（嘉島町）の獅子の系統といわれ、五穀豊穡祈願として毎年開かれています。

祭りでは、まず関係者が拝殿で神事を行った後、オンジシとメンジシー対の獅子を先頭に笛、太鼓、「釣り子」と呼ばれる男女の幼児らが神殿を一周。境内内の舞台へ進み、お囃子に合わせ、獅子舞と「釣り子」との掛け合いを披露しました。

また夜には、舞う獅子の上に花火を降らせる「もや」も行われ、幽玄な舞いに観衆は盛んな拍手を送りました。



迫力満点の獅子舞



前列右が大村さくらさん、左が西本さん、後列右から二人目が永田さん、三人目が大村遥加さん

全国女子相撲大会3位

木山中の西本みな代さんと津森小の大村さくらさん

木山中学校の西本みな代さん（1年、田原）と津森小学校の大村さくらさん（3年、北向）が、10月4日、富山県で開かれた、全日本中学生女子相撲大会、全日本小学生女子相撲大会にそれぞれ出場しました。

9月30日、九州大会団体戦で3位になった大村遥加さん（津森小6年、北向）と永田智波さん（津森小6年、上陳）と共に報告に訪れた西本さんは、「3位までに入りたい」。大村さんは「1回でも多く勝てるように頑張ります」と全国大会への意気込みを語っていましたが、それぞれ3位入賞の快挙を成し遂げました。